



発行
岡山県民主医療機関連合会
岡山市北区下伊福西町 1-53
岡山県民会館 3F
TEL (086) 214-3911
2020年4月号 No.344
E-mail: kikanshi@okayama-min-iren.org
URL: http://www.okayama-min-iren.org

ようこそ民医連へ

岡山県民医連は、だれもが安心してかかれ、患者さんの立場に立った良い医療を目指して、1963年に結成されました。地域の声を大切に医療・介護を実践し、現在は病院・診療所のほか、介護事業所、保険調剤薬局、事業協同組合、看護専門学校などがあります。これらの事業所は民医連綱領という理念でつながり、医療・介護、平和、社会保障、経営、教育、後継者育成などの活動に、多くの職員が取り組んでいます。



第38回全国青年ジャンボリーin岐阜 (2019年10月)

新入職員へのメッセージ



佐藤 修

(林道倫精神科神経科病院・看護師)

県連新入職員のみならず、入職おめでとうございます。心から歓迎いたします。2月頃から新型コロナウイルス感染症対応で、みなさんの中にも卒業式や関連行事に影響のあった方もおられると思います。就職されてからは学生

の時や前職の時には経験しなかった問題や人間関係や対応などさまざまなことに突き当たると感じます。そんな時は身近な先輩職員に相談して下さい。きつと解決や対応のヒントになる事が見えてくると思います。自分で納得できるように相談して、自分で決めたことは自分の力になります。そんなふうにならなければいけません。喜びや悩みは共有しましょう。みなさんの活躍に期待します。



岡田 一平

(さくら苑リハビリセンター・介護職)

ご入職おめでとうございます。みなさん、今日のような気持ちを持っていきますか？新しい環境にワクワクされている方、新しく社会人になり緊張や不安が大きい方など様々だと思います。私自身、3年前に新社会人として入職しました。自分が社会人としてやっ

ていけるか、楽しみであり、不安でもありました。そんな私は入職と同時にジャンボリー(以下JB)委員として活動をしていきます。JBとは「ひとりぼっちの青年をなくそう」をモットーに活動している、青年職員の集まりです。私は様々なJB活動を行うなかで、他の委員との距離も縮まり、一緒に楽しんだり、仕事の悩みを相談したりできる仲間を作ることができました。それぞれの事業所ごと、いろいろなJB活動を行っています。ぜひ先輩職員との会話のきっかけに尋ねてみてください！

点 滴

2016年知的障害者福祉施設「津久井やまゆり園」の入所者ら45人が殺傷されたあの凄惨な事件の判決が先日下された。事件後、接見した専門家の中の1人、ホームレス支援全国ネットワーク理事長の奥田知志氏との面接の内容は今の社会のあり様を問うものとして私の胸に突き刺さった。面接の中で「役に立たない人間を生かしていく余裕はこの社会にありません」と語る被告に、奥田氏は「事件を起こす前、あなた自身は役に立つ人間だったんですか。」と問いかけている。これに対し被告は「僕はあまり役に立たない人間でした」と答えたという。▼このやりとりを踏まえ、奥田氏は、被告自身が意味のある人間とない人間の分断線の上を綱渡りのように歩いていたのではないかと、一歩こっちに行けば価値のある人間になれる、一歩こっちに行けば価値のない人間になる、もともとこの社会に分断線があるのだと語る。▼価値のある、ない、は被告が考えるように社会にとつての生産性が基準なのだろうか。現に私は、知的障害をもつ子を育てる友人から母親の強さ、そしてその子のおおらかさや障害とともに生きる力強い姿から多くの事を学んだ。認知症のAさんが症状の進行とともに自ら語る事ができなくなった後も、家族と心通わせながら生きる目に見えない絆が家族の支えとなっていた事を目の当たりにもしてきた。▼障害のあるなりに関わらず、多くの人との出会いから今もたくさんの事を教えてもらっている。この事件の背景にある今の社会のあり様、価値観を今一度見つめつつ、「1人ひとりの命は重く、価値のない人間などない」ことを私たち医療福祉職は、社会に伝える使命がある事を認識しなければならぬと思う。(K)

新入職員への メッセージ



田淵 和輝
(中野けんせいえん・相談員)

ご入職おめでとうございます。

社会人としての新たな生活には期待と共に不安も大きいのではないのでしょうか。私は、この4月で入職4年目になります。最初は特養で介護職をしていて、現在は中野けんせいえんデイサービスセンターひなたで相談員として勤務をしています。どちらも未経験で分からない事ばかりでしたが、焦らず仕事を一つひとつ覚えていくようにしました。



また、入職時にこれだけ大切にしていくと自分の中で決めた「利用者様の声、要望（〜したい・して欲しい）をできるだけ実現する」を胸に働いています。様々な経験ができたおかげで、3月には社会福祉士国家試験に合格しました。わからないことを減らすことで徐々に自信へとつながっていくと思います。新入職員の皆さんも他の人と比べたりせず、自分のペースで少しずつ頑張ってください。



宮武 瑞希
(林道倫精神科神経科病院・精神保健福祉士)

ご入職おめでとうございます。「民医連ってなんだろう」と思われている方も多いのではないのでしょうか。入職してから、民医連の歴史やいのちの平等についてじっくりと学び、考える機会があります。私も1年間学ぶ機会が多くあり、2月にはその取り組み

みをとめ、病院内で発表しました。民医連に入職しなければならなかったことも多く、新たな気付きや大切な仲間を得ることが出来たと感じます。入職して迷うことや苦しむことがたくさんあると思います。私も悩みの連続ですが、職場の上司や同期に支えられながら何とか2年目に入ります。一緒に悩みや喜びなど様々なことを共有し、考えながら、真摯に患者さんやご家族に向きあっています。



竹鼻 良樹
(岡山協立病院・医師)

新入職員の皆様、入職おめでとうございます。岡山協立病院に入職して一年を振り返ると様々なことがあり、知識面や技術面や精神面が鍛えられた1年でした。入職して最初は分からないことが多く不安なこ

ともありました。また初めての医療行為に対し怖いと感じることも多々ありました。しかし色々な人の助けを借りることにより徐々にではありますが怖さを感じながらも身につけていくことができました。新人の皆さんも最初は右も左も分からないですが、周りの助けを借りながら自分のペースで少しずつ頑張ってください。



中下 勇治
(岡山協立病院・看護師)

新入職員の皆様の新しいスタートを祝し、心よりお祝い申し上げます。私は今年で看護師9年目となります。これまで印象に残った思い出の中に2年目で参加した花火ボランティアがあります。夏の花火大会の日は患者さんが花火を見る事ができるような4階のリハビリ

室を開放しています。酸素や点滴をしている方だけではなく、寝たきりの方でもベッドの上で家族と一緒に花火を眺める事ができます。ボランティアではそうした患者さんの移動や体調管理のサポートを行いました。病院で患者さんと一緒に花火を見るといふのは、私にとって何とも不思議な体験でしたが、患者さんの希望に対して力を惜しまない病院のスタイルに、とても感動したことを覚えていきます。

患者さんや家族の気持ちに寄り添うことで、思いがけない感動や笑いを頂くことがあります。それを職場の仲間と共有できたことが9年目まで続けることが出来た理由だと感じています。新入職員の皆様にとっても、笑いや感動に恵まれる職場になることを願っています。



三宅 聡美
(水島協同病院・医師)

研修医として働き始めた頃は、何も分からず様々な方に助けて頂きながら仕事をこなす生活を送っていました。入職して1年後、患者さんの問診から診断、治療の流れの概要が掴めてき

て少しずつ知識も増えてきました。働いていて、「先生、以前もお世話になりました。ありがとうございます」とお声がけ頂くこともあり、微力ながら地域医療に貢献している、と嬉しく

なります。これからも引き続き知識や手技、診療のレベルアップを頑張ります。また、新入職の研修医の先生方へのわかりやすい的確な指導ができるように日々努力する所存です。



堀 友美
(水島協同病院・看護師)

新入職員の皆さん、ご入職おめでとうございます。新しい生活への期待や不安や様々な思いを巡らしていることと思います。

3年前の春を思い返すと新しいナースウェアに心高ぶり、同期の仲間と写真を撮ったり、研修で組合員さんの話を聞いたりと楽しかった思い出ばかり覚えています。民医連は、新人研修がとても充実しています。

倉敷医療生協では、地元を知ろうと工業地帯付近を散策したり、組合員さんと絵や音楽や工作を交えて交流したり、先輩職員との面談をしたりとたくさんの方との関わりがありました。「〇〇先生のところでお世話になってねえ」と、話をされる組合員さんたちの明るい笑顔を見て、人と人との繋がりを強く感じる事ができ貴重な経験をさせて頂きました。今、私が3年目を迎えることができて居るのは、地域の組合さんをはじめ、医療生協を利用して下さる方々やその家族の方から頂く笑顔や声かけ、先輩職員さんの力強い後ろ

